

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を終えて

本市では、市内 19 の関係団体で構成する「未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」（以下、「支援委員会」）において、市民参加型の大会実現とレガシーの創出を柱とし、「地域と市民が元気になること」を活動目標とする支援方針を掲げ、市内関係団体や、神奈川県、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、競技団体等と連携し、東京 2020 大会に向けて取組を進めてきました。

今大会は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い史上初めて 1 年延期となりましたが、なおも感染拡大が続くなかで開催された昨夏の大会においても、無観客での開催となるなど、その影響は大きく、本市が主体で取り組むシティキャストの活動やライブサイト等の関連イベントも、中止や縮小など大幅な見直しを余儀なくされました。

このような状況下で開催された東京 2020 大会でしたが、この間、本市では、地元江の島の皆様や支援委員会を始めとした関係団体等と連携し、大会気運の醸成やおもてなしなど、創意工夫を図り取組を進めてきました。

今回、1964 年大会に続き 2 度目となる江の島でのオリンピック・セーリング競技の開催に当たり、本市が実施した施策・事業、その成果・レガシーなど、これまでの取組を総括し報告するものです。

なお、東京 2020 大会を契機として本市がこれまで実施してきた様々な取組については、次世代へ、その先の未来へしっかりと引き継いでいけるよう、記録映像や写真、後世に残すべき物品等を適切に保存していくとともに、可能な範囲で公開等の対応を図ってまいります。

■ 東京 2020 大会開催における本市の取組について （資料 2）

大会直前期から大会期間中、さらには、大会後にかけて実施した本市の主な取組、開催準備にかかる本市職員の執行体制と予算執行の状況、及び未来に向けたレガシーなどについて、資料 2 に基づき報告します。

■ 【参考資料】セーリング競技江の島開催決定後からの 本市及び関係団体等による取組について （資料 3）

セーリング競技が江の島で開催されることが決定した後の、本市及び関係団体等が実施してきた取組をまとめました。詳細については、資料 3 をご覧ください。

以 上

（事務担当）

生涯学習部 東京オリンピック・パラリンピック開催準備室